

選挙投票率の

アップについて

公明党
辻 勲

問 投票所の環境づくりについて伺います。

答 7月の参議院議員選挙から、選挙時に郵送している投票所入場券の裏面を変更し「期日前投票宣誓書」に必要な事項を記入して期日前投票所に持参してもらうことにより、混雑緩和を図ります。

問 現在、18歳・19歳が何名にな

答 6月1日現在の選挙人名簿登録者のうち、18歳の方は120名、19歳の方は11名です。

問 主権者教育及び砂川高校への働きかけと今後について伺います。

答 選挙の有無に関わらず、毎年、選挙制度の基礎知識に係る出前講座の案内を送っています。また、高校からの要望に応え、令和2年から毎年、生徒会選挙の際に投票箱の貸し出しを行い、選挙をより身近に感じてもらう良い機会になっています。今後も効果的な方策を検討します。

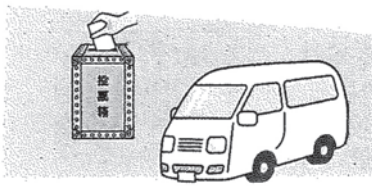
問 SNSを活用した投票依頼に

ついて伺います。

答 SNSで呼びかけが認められている一方で、電子メールは禁止されていること、投票日当日は認められていないことなど、周知に取り入れる検討をしています。

問 オンデマンド型移動期日前投票所巡回事業について伺います。

答 今回初めての実施となり、全国的にも事例が少なく、事業を実施する中で様々な課題や改善点が見えてくると考えられますので、利用者の意見を参考に見直しを行いながら、次の選挙に向けても取り組んでいきます。



移動期日前投票所(車)

5歳児健診の実施について

公正会・
市民の声連合
沢田 広志

問 国は、5歳前後は対人関係やことばの発達の遅れなどが見えやすいことから、発達障害などを早期に発見して就学前に必要な支援につなげようと、5歳児健診を実施する自治体への支援に取組んでいます。道内の健診の実施状況を伺います。

答 実施状況調査の結果によると、全道179自治体のうち国の補助事業を活用している自治体が52市町村、活用していない自治体が13市町村の計65市町村で、36%の自治体で実施し、令和7年度開始予定が15市町村、令和8年度開始予定が10市町村となっております。空知管内では、歌志内市・深川市他5つの町で実施しています。

問 国の支援内容について伺います。

答 満5歳児を対象に、身体発育状況や栄養状態のほか、発達障害や知的障害など個々の特性の早期発見、育児上問題となる事項の確認などを行う健康診査を対象に、

集団健診を原則として経費に対し、一人当たり5千円を上限に1／2補助としています。

問 5歳児健診実施について伺います。

答 必要性については十分認識しており、現在行っている乳幼児健診の目的に加え、発達の評価などの視点が加わることから、医療機関や保育所・幼稚園など関係機関との連携など地域のフォローアップ体制の構築が必要で、それら関係機関との協議・検討を進め早期の実施に向けて取組んでいきたいと考えています。

国は推進

5歳児健診

砂川市は早期実施

持続可能な行政のための 人材戦略について

公正会・
市民の声連合

武田 真

問 若手職員の離職と採用難が全国の自治体で顕在化しています。人口減少や多様化した市民ニーズ等に応えるには、専門性と即戦力を備えた人材の安定確保が不可欠です。そこで、若手職員の離職の背景、新規採用の現状等、社会人経験者の積極的な採用の考え方及び人材定着・活躍のための環境整備の状況について伺います。

答 直近5年間の35歳以下の職員の離職者数は、年平均4.2人です。離職者の半数は民間企業へ転職しています。新規採用については、何とか人員確保を維持しています。が、状況に応じて要件の変更なども考慮し、確保に努めます。

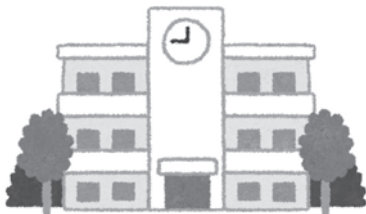
社会人経験者の採用については、建築技術職等は、年齢要件を35歳まで引き上げています。

人材定着・活躍のための環境整備は、砂川市人材育成基本方針に基づき整備に努めています。

小学校の閉校に伴う施設の 利活用方針等について

問 閉校舎等の利活用については、市として計画的に取組む段階と考えますが、現在の検討状況等について伺います。

答 閉校舎等の利活用は、これまで関係部署と協議を進めてきました。利活用の基本的な考え方は、地域の実情や立地条件、老朽化等を総合的に判断することにあります。この考え方に基づき、市が主体的に活用する方法や民間への貸与・売却等といった方法も関係団体等と調整し、検討していきます。



市立病院附属看護 専門学校について

公正会・
市民の声連合

小黒 弘

問 附属看護専門学校は平成3年開校した1学年35名、3学年で合計105名定員の看護師養成課程を有する学校です。卒業生の砂川市立病院への就職人数を伺います。

答 当院への就職状況は令和7年度18名、令和6年度19名、令和5年度23名、令和4年度19名となっています。

問 病床の大幅削減もありましたが、来年度の卒業生の採用予定について伺います。

答 令和8年度の看護師職員採用登録試験は、6月6日に実施し、附属看護専門学校からは12名が受験しています。

市立病院の経営が厳しいのは、人件費が高いのも要因の一つです。

また、ここ数年、病床の休床・削減があり、看護職員の配置・見直しを行ってきています。令和7年度4月の看護師の採用についても例年より少ない人数でしたので、受験した附属の学生12名が就業できるとは限りません。

問 附属看護専門学校の建物、設備などの現況と改修計画を伺います。

答 建物は経年劣化により雨天時の雨漏りが発生し、設備なども老朽化が顕著です。令和4年度に改修計画を作成するにあたり、大規模改修に要する費用を積算したところ多額の費用を要することが判明したことから、現状では施設の安全性及び機能維持を図るべく、緊急性や必要性の高い箇所の修繕を実施することで対応します。



市立病院附属看護専門学校

ほかに、「市立病院の駐車場について」質問しました。